



Oval Ace

オーヴァルエース 体高165cm

2016年生 栗毛 荻伏産

Fee

受胎条件

30万円

フリーリターン特約付

受胎確認後9月30日迄支払

出生条件

50万円

産駒誕生後1ヶ月以内支払

*ヘネシー Hennessy 栗毛 1993	ストームキャット Storm Cat	Storm Bird Terlingua	<i>Northern Dancer</i> South Ocean Secretariat Crimson Saint
*ヘニーヒューズ Henny Hughes 栗毛 2003	アイランドキティ Island Kitty	Hawaii T.C.Kitten	Utrillo Ethane Tom Cat Needlebug
メドウフライヤー Meadow Flyer 鹿毛 1989	メドウレイク Meadowlake	Hold Your Peace Suspicious Native	Speak John Blue Moon Raise a Native Be Suspicious
*グラスワンダー Grass Wonder 栗毛 1995	ショートリー Shortley	Hagley Short Winded	Olden Times Teo Pepi Harvest Singing Wind Cloud
アブラシオ 鹿毛 2005	シルヴァーホーク Silver Hawk	Roberto Gris Vitesse	Hail to Reason Bramalea Amerigo Matchiche
ジュウジホウセキ 鹿毛 1992	アメリカフローラ Ameriflora	Danzig Graceful Touch	<i>Northern Dancer</i> Pas de Nom His Majesty Pi Phi Gal
	マルゼンスキー	Nijinsky *シル	<i>Northern Dancer</i> Flaming Page Buck Passer Quill
	ジュウジターキン	*ハンターコム シャダイターキン	Derring-Do Ergina *ガーサント ブラックターキン (13-c)

5代までのインブリード : Northern Dancer S5× M5× M5

人気種牡馬ヘニーヒューズの後継馬 デビュー3連勝でリステッドのヒヤシンスS快勝 無限の可能性を秘める次世代エース

Race Record 競走成績

3戦無敗で出世レースのヒヤシンスSを快勝

2~3歳時に3戦3勝

総取得賞金: 3651万8000円

1	L	ヒヤシンスS (2019)	東京・ダ1600m
1		寒椿賞 (2018)	中京・ダ1400m
1		新馬 (2018)	東京・ダ1600m



ヒヤシンスS-L 2019.2.17 東京・ダ1600m

Sire Record 種牡馬成績

ペイシャヴァルツ(京都)、ピーエムナナ(川崎)が新馬勝ち

2021年よりイーストスタッドで供用。

[代表産駒]

ペイシャヴァルツ	1勝、2歳新馬
リックフォ	岩手2勝
ピーエムナナ	南関東1勝
ノーベジタブル	石川1勝
フェングランツ	兵庫1勝

Sire Reference 父系

2024年もアマンテビアンコ、タガノビューティーがJpn1制覇

父: *ヘニーヒューズは米国産。2~3歳時に北米で10戦6勝。ヴォスバーグS-G1、キングズビショップS-G1、サラトガススペシャルS-G2、ジャージーショアBCS-G3。2012年北米2歳種牡馬ランキング2位、2020~2023年JRAダートランキング1位。[代表産駒]ビホルダーBeholder(BCディスタフ-G1[2回]、BCジュヴェナイルフィリーズ-G1)、*アジアエクスプレス(朝日杯フューチュリティS-G1、レパードS-G3)、*モーニン(フェブラリーS-G1、根岸S-G3)、ワイドファラオ(かしわ記念-Jpn1、ニュージーランドT-G2、ユニコーンS-G3)、アランパローズ(全日本2歳優駿-Jpn1)、アマンテビアンコ(羽田盃-Jpn1)、タガノビューティー(JBCスプリント-Jpn1)、セラフィックコール(ダイオライト記念-Jpn2)、ケイアイレオーネ(兵庫ジュニアグランプリ-Jpn2、シリウスS-G3)、セキフウ(兵庫ジュニアグランプリ-Jpn2、エルムS-G3)、ウェルドーン(関東オークス-Jpn2)

Family 母系

甥のヴァルツァーシャルがマーチS制覇

母アブラシオ(by *グラスワンダー)は1勝。産駒

オーヴァルエース(牡 by *ヘニーヒューズ)3勝。ヒヤシンスS-L、寒椿賞。(本馬)ソルブレサ(牡 by *エンパイアメーカー)3勝、白馬岳特別、兵庫・高知(公)6

勝、園田FCスプリント3着

バイカターキン(牝 by *エンパイアメーカー)不出走。産駒

ヴァルツァーシャル: 6勝、マーチS-G3、ポルックスS-OP、師走S-L2着、総武S-OP2着、ユニコーンS-G34着

ラナチャンス: 2勝

レイズカイザー: 2勝

レイズトワイライト: 1勝

ゴールデンターキン(牝 by *ネオユニヴァース)1勝

トラストフェアリー(牝 by *ケイムホーム)1勝。産駒

ミスノコキウ: 2勝

祖母ジュウジホウセキは1勝。産駒

トラストジューム: 6勝、門松S-OP、甲南S、上賀茂S、瀬波特別

ホッコガンバ: 4勝、道新スポーツ賞、石狩特別

ウメノコトブキ: 5勝、塩沢特別、苫小牧特別、障害2戦。産駒

アキノグローブ: 3勝、伊勢特別、九十九島特別

オネストエイブ: 2勝

曾祖母ジュウジターキンは2勝。産駒

アイネスターキン: 不出走。産駒

ディアジーナ: 4勝、フローラS-Jpn2、クイーンC-G3、菜の花賞、フラワーC-G32着、オークス-Jpn15着

コスモラブシック: 6勝、淀屋橋S、疾風特別、祇園特別、青函S-OP2着、TV愛知OP-OP3着、障害6戦

四代母シャダイターキンは5勝、オークス、4歳牝馬特別2着、牝馬東タイ杯3着。

ダイナルテミス(牝馬東タイ杯-Jpn3)の母、レッツゴーターキン(天皇賞・秋-Jpn1)の祖母、ブラウンビートル(新潟記念-Jpn3)の曾祖母

Best Progeny



2歳新馬 2024.12.14 京都・ダ1200m

初年度産駒から早くも2歳新馬勝ち馬が登場 京都ダート1200mで衝撃の9馬身差圧勝!

ペイシャヴァルツ

父オーヴァルエース

母ペイシャネガノ(*サウスヴィグラス)

牝 2022年生 栗東・吉田直弘厩舎

初年度産駒から、早くもJRAの2歳新馬勝ちを果たす馬が現れた。新ひだか町・友田牧場生産のペイシャヴァルツは2歳12月の京都ダート1200mでデビュー。スタートしてすぐにスピードの違いで先手を取ると、あとは一度も先頭を譲ることなくゴール。直線では後続を離す一方で、最後は9馬身差の圧勝となった。

母母父がヘネシーで、ヘネシーの3×3という野心的な配合の同馬。ヘニーヒューズの適性を正しく受け継ぐダートのスピード馬の登場は、種牡馬オーヴァルエースにとって絶好の後押しとなる。